



楽しいときにも、苦しいときにも・・・

10年以上も前のことです。冬の寒い教室。朝課外の始まる前にクラスメートの机を一つ一つ丁寧に雑巾で拭く生徒がいました。不意に声をかけると、その生徒は恥ずかしそうに答えました。「僕はもう推薦入試で大学は決まったけれど、それでもう関係ないんじゃないかと、何か僕にできることがないかと考えて、人に勉強を教えたりはできないから、せめて早く学校に来てみんなが勉強しやすいようにしようと思って・・・みんなには黙って下さい。」夕課後の教室で遅くまで一生懸命に勉強する生徒は宅習帳(本校ではフェニックスナビに相当します。)に書いていました。「私は短大に行くことが決まったけど、みんなと一緒に最後まで頑張ります。自分の力を試したいというのがありますが、みんなが楽しいときに私も楽しかったように、みんなが苦しいときに、私も一緒に乗り越えたいです。」

生徒の人数分だけの進路志望があります。国立受験者、私立受験者、推薦合格者などに分けて表現することもあります。一人一人の進路計画や将来の夢が違うのは当然です。そして、明日からの大学入学共通テストに向けて思いもまた、生徒の人数分だけあると思います。国立、私立で共通テストを利用する人が多いと思いますが、他にも、推薦で合格した大学に一般で合格できるのに見合った学力をつけたい、これまで大変な思いをしながら勉強してきた自分の実力を試したい、これから入試の始まる仲間とともに臨場感を実感し、一緒に頑張りたい・・・という思いもあるでしょう。

私は共通テスト演習をするたびに弱点発見シートに自己採点結果とコメントを書かせました。目標得点や時間配分、誤答や思考パターンの分析などを意識して解説を読み込み、見通しを持って自学ができる受験生になって欲しいと思っていました。回数を重ねるごとに生徒の分析は鋭くなっていきました。自分の癖や弱点も知り、何をすべきか考えるコメントが増えました。もっとレベルを上げようと試行錯誤していることが分かりました。作戦を練ったけれど点数が出ないと苦しんでいる様子もよく分かりました。演習後半になり、私のできることは生徒のコメントに少し励ましの言葉を添えることと、チャイムがなる直前にメンタル面の話をすることになりました。合格イメージを持つこと。想定外のことは起こるが引きずらないこと。パニックに陥らないこと。

もう一方で、私が注目してきた人たちがいます。進路決定者の演習の様子と弱点発見シートのコメントです。どんな目標を持ちながら演習に臨んでいるのだろうか、共通テストに対する思いは何だろうか・・・。

この人たちのコメントから分かったことは、共通テストへの思いはそれぞれでしょうが、進路決定者も同じように努力し、悩んでいるということでした。もっと力を付けたい、満足のいく結果を出したい。10年前の雑巾がけの生徒、夕課後の自学の生徒と同じように、謙虚に頑張りぬく日南高校の生徒を見ました。苦しい時を一緒に乗り越えようとしている生徒たちだと思います。

受験は一人で受けるものです。自分の生き方を大きく左右する第一歩であるだけに不安は大きいですが、だからみんなで支え合ひましょう。受験会場には見慣れない顔ばかりで舞い上がってしまいがちですが、同じ思いのみんながついています。日南高校のみんなで乗り越えましょう。一人ではありませんよ。いつもの力が出せるはず。盛り上がる時、これ以上はありえないと言うほど盛り上がりました。そして、今がしんどい時、これをみんなで乗り越えましょう。対面で声を掛け合って確かめることはできないけれど、自分を信じて頑張らしましょう。これは3組の生徒のみなさん、保護者のみなさん、後輩たち、先生方も同じ思いです。受験会場で、平常心でいられますように、納得のいく手ごたえでありますように・・・

健闘を祈っています。頑張ってきてください。

月	日	曜	行事予定(3年に関するもののみ)	朝	夕	備考
1月	16	土	共通テスト1日目 文 6:50 理 8:10 集合			
	17	日	共通テスト2日目 文 6:50 理 9:00 集合			
	18	月	自己採点日(3組は午前授業)・午後は放課	×	×	8:15校門通過
	19	火	3年生全クラス自宅待機			
	20	水	二次特編授業～2月22日	×	×	8:15校門通過
	21	木	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
	22	金	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
	23	土				
	24	日				
	25	月	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
	26	火	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
27	水	二次特編授業	×	×	8:15校門通過	